

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立大谷中学校

採択活動名

海と生きる大谷地区がより活気づくためのプロジェクトを提案し、行動しよう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海洋・地域学習	全学年	総合的な学習の時間
2.		
3.		

取り組みの概要

1 学年では、「環境保全」をテーマに、海を守るために環境問題に焦点をおき、環境問題を解決することで地域を活気付かせることを目標に、自分たちでできることは何かを考えて行動する学習を実施した。「温暖化・海水」「海浜植物」「情報発信」をキーワードとして班編制し、それぞれ活動した。NPO 法人の「はまわらす」さんや、地域の方、道の駅大谷海岸さんに協力いただき、実際に大谷海岸に足を運んで海水を調査したり、生き物を採取して同定作業したり、海や道の駅の写真を撮ったりして大谷地区の自然環境を調査・PR・保護しようと行動した。

2 学年では、「地域資源」をテーマに、地域資源を活用することで地域を活気付かせるためにはどうするかを考えて活動を進めた。生徒の話し合いの中で、大谷で生産される大谷芋を使って商品開発のアイデアを出し合い、「大谷いもチップス」や「大谷芋ポテトフライ」を考案した。作っただけでなく、地域の方々に試食していただき、感想をもとにしてどのように改善できるかを話し合い、試行錯誤を繰り返すことで探究活動を進めた。

3 年生では、「経済活性化」をテーマに、大谷の魅力をすべて生かして、経済を活性化するためにはどうするかを考えて活動した。大谷芋を使った「シフォンケーキ」「パウンドケーキ」「コロッケ」、大谷の海をモチーフにした「海のゼリー」、大谷海岸で集めたシーグラスを用いてハーバリウムを考案し、地域の企業とタイアップし商品化できたものもあった。また、地域の収穫祭にも参加し、自分たちで作ったパウンドケーキやコロッケを訪れた人に試食してもらったり、道の駅でワークショップを行ったり、アンケートを行ったりするなど精力的に行動することができた。



ハーバリウム作成のイベント（お客様と）



海水の温度やpH・汚れの調査



道の駅の駅長さんへ大谷芋チップスの提案